

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2019 年 12 月 2 日作成 第 2.0 版

| | |
|--------------------------|---|
| 研究課題名 | 非飲酒・非喫煙の患者に生じた食道癌の内視鏡所見と病理学的所見に関する多施設共同観察研究 |
| 研究の対象 | 2000年1月1日から2019年11月30日の間に、習慣的飲酒歴、喫煙歴が無い20歳以上の食道癌の患者さんで、内視鏡的あるいは外科的に切除された症例です |
| 研究目的 ・方法 | 食道癌の多くは飲酒や喫煙をされる方に見られます。この研究では、飲酒や喫煙をされない方に発症した食道癌の特徴を調べるために、内視鏡で観察した写真と、治療のために切除した病理標本を対応させて、病気の性質を詳細に調べます。 |
| 研究期間 | 西暦 2019 年 11 月 11 日 から 西暦 2024 年 11 月 30 日 |
| 研究に用いる 試料・情報の 種類 | 患者さんが食道癌以外にお持ちの病気の既往などの情報、治療前の内視鏡検査による画像情報、治療された病変のプレパラートの病理所見などを検索します。 |
| 外部への 試料・情報の 提供 | <p>本研究に関する文書および記録は当院の医局内で、院内 LAN やインターネットに接続されていない独立したコンピューター端末でパスワードをかけ保管し、紙で保管する場合は、ファイルに綴じて施錠できる書棚で厳重に管理し、本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう保管します。</p> <p>病理プレパラートまたは未染プレパラートを貸出する場合は、プレパラートをマスキング、施設毎の識別番号を付与し、横浜市立大学医学部病態病理学教室の鍵のかかるキャビネットに常温で管理しデータ収集終了後は、手渡しあるいは郵送にて返却します。</p> <p>主たる研究機関である横浜市立大学医学部病態病理学教室では、共同研究機関から集積したデータにパスワードをかけ管理を行います。少なくとも本研究の終了日から5年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から3年後のいずれかの遅い日までの期間、厳重に保管します。</p> |
| 外部からの 試料・情報の 取得と保管 | 該当しません。 |

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

| | |
|--|--|
| 研究組織 | <p><研究代表者> 横浜市立大学医学部病態病理 立石陽子</p> <p><共同研究機関> 横浜市立大学附属市民総合医療センター内視鏡部 福地剛英 北海道大学病院光学医療診療部 石川麻倫 鹿児島大学病院消化器疾患・生活習慣病学 佐々木文郷 広島大学病院未来医療センター 卜部祐司 九州大学病態制御内科 蓑田洋介 徳島赤十字病院消化器内科 桑山泰治 佐久医療センター内視鏡内科 高橋亜紀子 福岡大学筑紫病院消化器内科 石川智士 市立奈良病院消化器肝臓病センター消化器内科 北村陽子 大阪国際がんセンター消化管内科 井上貴 がん研有明病院消化器内科 堀川宜範 慶應義塾大学医学部一般・消化器外科 中村理恵子 東京医科歯科大学消化管外科 川田研郎 がん・感染症センター都立駒込病院消化器内科 梶原有史 埼玉県立がんセンター消化器内科 都宮美華 川崎市立井田病院内視鏡センター 大森泰</p> |
| <p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p> | |
| <p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町4丁目57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター （研究責任者）福地剛英 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5382 <研究代表者> 横浜市立大学医学部病態病理学 立石陽子</p> | |